



<施設の概要>
 所在地: 佐賀県三養基郡基山町大字宮浦
 敷地面積: 10,148.5m²
 延床面積: 64,34.51m²
 構造規模: 鉄筋コンクリート造、4階建て
 設計: 株式会社 内山建設
 施工: 建築 / 住友建設九州支店 電気 / 藤佐電工
 竣工: 平成10年5月

格調と気軽さに配慮した 町政の中心施設

Central facilities of the town stand with style as yet closeness to residents

エリアごとに適切な光源を採用 Appropriate light sources with respective areas

基山町は九州各地を結ぶ交通の要に位置し、大都市圏のベッドタウンとして発展している町です。新庁舎は人口増加に伴い求められる生活環境の充実、調和のとれた町づくりに対する行政発展の中核として完成しました。

議場は、天井が高い大空間を格式高い雰囲気にととのため、蛍光灯器具主体の建築化照明を多用。輝度の低い蛍光灯器具を数多く配置することにより、有害なグレアを防ぐとともに平均照度1500lxを確保して、高照度かつ経済的な照明を実現しています。また、建築化照明は天井裏からランプの交換ができる構造として、メンテナンス性にも配慮しています。

窓口は、蛍光灯のライン照明ですっきりとした印象に仕上げ、光源には色温度5000KのHf蛍光ランプを採用。平均照度1000lxレベルの高照度空間として、町民が足を運びやすい雰囲気となっています。

このほか、執務室や会議室など全館にわたり同様のHf蛍光ランプを採用して平均照度1000lxレベルの活動的な雰囲気を実現する一方、廊下や待合ロビーなどの共用エリアは、色温度3000Kのコンパクト蛍光ランプを採用して、照度も150lxから300lxと低めに設定することにより、全体としてメリハリのある光環境を実現。職員にとっては働きやすく、町民にとっては気軽に訪れることのできる明るい庁舎となっています。

照明コンセプト

Lighting design concept

適切な光源の採用と必要十分な照度設計により、経済的、かつスペースに応じたメリハリのある光環境の演出。



議場 建築化照明を多用し、格式の高い雰囲気を演出
 Assembly hall



窓口
 "Windows" of the office floor
 蛍光灯のライン照明により、すっきりとした印象に仕上げ、町民が足を運びやすい雰囲気をつくり出している



アプローチ(薄暮時) 低位置の連続照明が訪れる人を入り口へと導く
 Approach (before dark)



ロビー 暖色系光源で落ち着いた雰囲気のある光環境を実現
 Lobby

主要照明器具一覧

| 設置場所 | 器具名 | 形名 | 台数 | ランプ |
|-------|----------------|--------------|-----|---------------|
| 議場 | ユーラインフラオダウンライト | FLD-3670NF | 123 | FWL36EX-N |
| | 間接照明(トラフ) | FHT-41008-PE | 114 | FHF32EX-N |
| | ルーバ天井(笠付) | FT-91101N | 80 | FLR110HEX-N/A |
| 窓口 | ソフトライトM | FHR-42780-PS | - | FHF32EX-N |
| アプローチ | メタルーフ | HGP-15001 | 6 | MTS150/W |